

くすのき

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

西合志第一小学校
学校だより 第48号
文責 校長 西村羊治

令和6年11月25日

フラッグフットボールでハッスル！

フラッグフットボールの説明を聞く子ども達

大阪で小学校の先生をされていて、ある事情で熊本に来られて合志市の数校にフラッグフットボールを指導して下さる吉村さんが来校し、すべての学年にフラッグフットボールを指導して下さいました。準備運動からフットボール風鬼ごっこ、フットボールリレー、フットボールの持ち方、フットボールの渡し方、攻撃と防御の1対1のゲーム、フットボールを使ったキャッチボール等々、いろいろな楽しい運動をたくさん教えて下さいました。吉村さんもさすが元教師、子ども他の対応はバッチリです。子ども達も目を輝かせて笑顔で意欲的に取り組みます。その様子を見ているこっちもわくわくしてきます。



一人一人の子ども達の運動量確保、一人一人の平等な出番、運動が苦手な子も楽しめる場づくり、吉村さんが作り出す雰囲気子ども達の感性とマッチし、本当に明るく楽しい授業がなされていました。特に、キャッチボールの時ボールがバウンドするのですが、形が楕円なのでどの方向にはねるかわからず、予想もしない方向にバウンドし、それがまたおもしろいのです。私もやったことがないのですが、子ども達が生き生きとして取り組んでいたのは間違いありません。この様なわくわく体験をたくさんすることで、子ども達の心が満たされ心身共に健康な体づくりができると思います。今回、指導して下さいました吉村先生、ありがとうございました。できれば来年度もお願いしたいです。

フットボールを持って走り回る子ども達



うれしい涙

年長さんに自己紹介する5年生

11月20日(水)に来年度入学予定の各幼稚園・保育園の年長さんの就学時健診を行いました。可愛い年長さんを8名の5年生のお姉さん・お兄さんが、やさしく各検査会場に連れて行ったり、遊んであげたり、本の読み聞かせをしたりして、すばらしい対応をしてくれました。5年前は、される立場だった子が5年生となり、お世話をする立場になっている様子を見て、子どもの成長と優しさを感じました。



就学時健診が終わる頃、ある年長の女の子が涙を流して泣いていました。私は、てっきりお母さんと離れる時間があったので、お母さんと一緒にいたくて泣いているのだろうと思い込んでいました。ところがよくよく確認すると、就学時健診が終わって、お世話してもらった5年生と別れるのが悲しいと泣いているのです。教師生活34年、初めての経験です。何と嬉しいことでしょうか。何と感受性の豊かな子でしょうか。なんとやさしく接してくれた5年生でしょうか。いろいろな気持ちが私の心の中をぐるぐる回りました。本当に優しく対応してくれた5年生、その優しさを心から受け止める新1年生。こんなすばらしい子どもが通学する西合志第一小学校に勤務できている私は、本当に幸せ者です。就学時健診に来て下さったすべての保護者の方々、年長のみなさん、お世話してくれた5年生、本当にありがとうございました。



年長さんに読み聞かせをする5年生